

土木のある風景

木津川に架かる「流れ橋」と「沈下橋」

三重県の伊賀地方に端を発し、淀川水系の支流をなす一級河川、木津川。その下流域・京都府八幡市に「上津屋橋」という歩行者専用の木造橋がある。時代劇のロケにもしばしば登場するこの橋は「流れ橋」ともいう。大雨や台風で川の水位が上がれば、橋桁だけ流される構造が名前の由来だ。橋桁はワイヤーで橋脚と結ばれ、流されてもわずか数十メートルほど。水位が下がると回収して元通りに設置できる。

木津川の上流域・京都府相楽郡南山城村に架かるのは、いかにも京都らしい雅な名前の「恋路橋」。

後醍醐天皇ゆかりの「恋志谷神社」へ通じるこの橋をカプセルで渡ってお参りすると恋愛が成就するという。

恋路橋が土木構造上「沈下橋」「潜水橋」と呼ばれるのは、大雨増水時には川に飲み込まれて隠れてしまうからだとか。流線型構造の橋脚は川の流れによる抵抗を受けにくく、水位が下がると再び姿を現す仕組みだ。

いずれの橋も欄干がなく、増水時には通行できない不便さはあるが柳の枝のようなしなやかさと強靭さを感じられる。支流に14もの天井川があり、ひとたび堤防が決壊すると濁流が襲い、流域に大きな水害を引き起こしていた木津川。そんな厳しい自然と向き合う人々の知恵と工夫から生まれた風景がここにある。



恋路橋 (沈下橋・潜水橋)



上津屋橋 (流れ橋)



後醍醐天皇ゆかりの地・恋志谷神社



橋桁はワイヤーでつながっている

発行:



一般社団法人日本建設業連合会 関西支部
JAPAN FEDERATION OF CONSTRUCTION CONTRACTORS

編集: 広報委員会 〒540-0031
平成 26 年 11 月 1 日 (年 1 回発行)

大阪市中央区北浜東 1-30

大阪建設会館内

TEL.06(6941)3658

制作: 株式会社 廣済堂

ひびる

Kansai
district
civil
magazine

vol.
31

関西の土木力。

●巻頭対談／近畿の未来
脱・東京一極集中！
インフラ整備で商都復活を遂げ世界都市へ

福島 伸一氏 × 藤井 聡氏

●レポート・最前線

関西の土木力を結集した世界初の挑戦
「バタフライ橋」

●ザ・プロフェッショナル

大成建設 工事主任 **勝田つかささん**

●偉人たちの歴史街道
淀川水系の治水・利水の発展に貢献した

二人の偉業

●The Walker

歴史が息づくガラスの街 長浜・黒壁スクエア

「コム」自然との共生「魚道と魚道堰」／トビックス／土木のある風景